

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月26日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【第二セシウム吸着装置(SARRY)油分分離装置処理水タンクの液位計故障について】 第二セシウム吸着装置の運転中、油分分離装置処理水タンクの液位計が故障し、運転が自動停止した。液位計は2台設置しており、故障した水位計を除外し運転を再開。	GⅢ
2	【5・6号機逆浸透膜処理装置からの漏えいについて】 逆浸透膜処理装置のモジュール2B閉止板の近くより水が養生内に滴下していることを発見。逆浸透膜処理装置を停止。滴下が止まったことを確認。床面への滴下なし。 今後、原因を調査する。	GⅢ